

SATO HARUO'S LOVE FOR ART

佐藤春夫の

「受贈記念」
文豪の絵画と
美術コレクション

文学者に落ちついたのは
半ば偶然のやうな気がする

美術愛



谷中安規《文豪 佐藤春夫》制作年不詳 当館蔵

2025.4.12 SAT - 6.29 SUN

和歌山県立近代美術館

THE MUSEUM OF MODERN ART, WAKAYAMA

〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14 tel: 073-436-8690 <https://www.momaw.jp/>

開館時間 | 9時30分-17時 (入場は16時30分まで)

休館日 | 月曜日 [祝日の5月5日は開館]、5月7日 [水]

観覧料 | 一般=600 (480) 円、大学生=330 (290) 円

※ () 内は20名以上の団体料金 ※ 高校生以下、65歳以上の方、障害者は無料

※ 4月26日、5月24日、6月28日 (毎月第4土曜日) は、「紀陽文化財団の日」として大学生無料

※ 5月4日、6月1日 (毎月第1日曜日) は無料観覧日

佐藤春夫の美術愛

佐藤春夫旧蔵の美術作品を中心に
春夫と美術の関わりを紹介

SATO HARUO'S LOVE FOR ART



1



2



3



4



5



6

和歌山県新宮市に生まれた佐藤春夫(1892-1964)は、明治から昭和にかけて、詩や小説の創作を中心に、文学の世界で大きな足跡を残しました。同時に春夫は、「二十のころの希望は文学と美術との二つに分かれていた」と回想しており、その若き日に抱いた美術へのあこがれを、生涯持ち続けることとなります。

昨年度、当館は春夫が所蔵していた美術作品、61件148点の寄贈を受けました。本展はそれを記念し、春夫ゆかりの美術作品を多くの方にご覧いただく機会として開催します。

春夫は新宮で育った少年のころ、詩書画に関心の高い父の影響を受けつつ、大石誠之助や西村伊作らがもたらした新しい思想や文化にもふれます。さらに同地を訪れた石井柏亭ら一流の美術家や文化人との交流を通して、文学とともに美術への関心を深めました。上京後には自身の肖像画制作を通して高村光太郎と親交を結ぶなか、自らも絵筆をとって絵画の制作を始め、設立されたばかりの二科展では連続入選を果たします。

自著の装幀や挿画は美術家と共同で仕事をする機会を生み出し、それが若い美術家の支援にもつながりました。なかでも大正から昭和の戦前期にかけて、木版画で特異な幻想の世界を描き出した谷中安規(たになか・やすのり)とは特別な交流が生まれ、春夫の手元には多くの作品が残されました。本展では詩情あふれる木版画を手がけた川上澄生の作品、また里見淳、武者小路実篤とシリーズを分け合ったゴヤの連作版画集〈ロス・カプリチオス〉など、春夫が愛蔵した版画も数多くご紹介しします。

佐藤春夫の文学作品に関心を持つ方はもちろん、多くの方に文豪の知られざる美術コレクションからその美術との関わりについて理解を深めていただくことで、改めて春夫の作品世界を知り、楽しんでいただく契機にもなれらとえています。

1. 高村光太郎《佐藤春夫像》1914年 個人蔵
 2. 佐藤春夫《谷中安規像》1942年 個人蔵
 3. 谷中安規《女性像》制作年不詳 当館蔵*
 4. 川上澄生《絵ノ上ノ静物》1926年 当館蔵*
 5. 谷中安規《(街の本)：ムーラン・ルーージュ》1935年 当館蔵*
 6. フランシスコ・デ・ゴヤ《(ロス・カプリチオス) 26：彼女たちはもう席を持っている》刊行年不詳/1799年初版 当館蔵*
- *=2024年度に寄贈を受けた佐藤春夫の旧蔵作品

出品作家 = ゴヤ、石井柏亭、川上澄生、高村光太郎、谷中安規 ほか

文豪とアルティスト

関連事業

フロアレクチャー

(学芸員による展示解説)

4月29日[火・祝]、5月6日[火・休]

14時-15時

会場にて。観覧券が必要。

*その他、決まりしだい

当館ウェブサイト等でお知らせします。

同時期に開催

MOMAWコレクション

・和歌山ゆかりの作家と近代の美術
・現代の美術

*6月3日[火]-6月5日[木]は、「現代の美術」のみ展示替えのため休室

“写(うつす)”

—紀州のやきものを巡るまなざし—

3月15日[土]-4月20日[日]

仏像のプロフィール

わかやまうまれ、わかやまそだち

4月26日[土]-6月1日[日]

祇園南海の詩と書

—教養・芸術・心情—

6月14日[土]-7月21日[月・祝]

和歌山県立博物館(となり)の展覧会

【交通案内】
◎JR和歌山駅からバスで約10分、「県庁前」下車、徒歩2分
◎南海電鉄和歌山市駅から徒歩15分／バスで約10分、「県庁前」下車、徒歩2分
◎南海電鉄なんば駅から和歌山市駅まで特急で約1時間
◎JR新大阪駅、JR大阪駅から和歌山市駅まで特急で約1時間
◎駐車場：2時間まで無料、以後30分ごとに100円

